

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第5区分
 【発行日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【公開番号】特開2001-213134(P2001-213134A)

【公開日】平成13年8月7日(2001.8.7)

【出願番号】特願2000-23894(P2000-23894)

【国際特許分類】

B 60 H 1/00 (2006.01)

【F I】

B 60 H 1/00 102 F

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月18日(2006.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

次に、仕切り部60は、上述した仕切壁4と協動して、回転軸線方向において、スクロールケーシング3a内を第1空気通路5aと第2空気通路5bとに仕切るためのものである。この仕切り部60は、図2に示すように、末広がりの略円錐形状に形成され、回転中心部には電動モータ7の駆動軸がはめ込まれるボス部60cを形成されている。また、径方向の外側には、第1ファン6aの複数の第1ファンブレード6cの端部と連結する第1連結部60aと、第2ファン6bの複数の第2ファンブレード6dの端部と連結する第2連結部60bとが分岐して形成されている。なお、第1連結部60aは、複数の第1ファンブレード6cの端部を吸込口61aを有する円環状の連結部62aとで結合させるものである。また、第2連結部60bも同様に、複数の第2ファンブレード6dの端部を吸込口61bを有する円環状の連結部62bとで結合させるものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

さらに、第2ファン6bの連結部62bとスクロールケーシング3aの内面との空間9aにおいても、スクロールケーシング3aの内面に第2ファン6bの連結部62bの径方向の外側近傍に、円環状(リング状)の第2突設部(10c)が形成させて、空間9aの空気通路をさらに延長させるとともに、空間9aへの空気通路入口での曲げによる摩擦損失が増加されることより、第2空気通路5b側から車室内側への漏れ量が低減されるものである。なお、この第2突設部10cの突き出し高さは、連結部61bのファンブレード6dの端面内側に突き出さない程度で設定されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

また、第2ファン6bの連結部62bとスクロールケーシング3aの内面との空間9a

において、ケーシング 3 a の内面に第 2 突設部 10 c を設けることにより、この空気通路の経路が延長されるとともに、曲がり部が加わることで従来と比べて摩擦損失が増加して第 2 空気通路（5 b）側から車室内側への漏れ量が低減される。とくに、車室外空気（外気）と車室内との圧力差が大となる高速走行時（ラム圧が上昇する）においては、車室外空気（外気）が車室内への侵入量が大幅に低減され、その結果、乗員への快適性の向上が図れる。